



# Compass

令和7年9月10日発行

進路だより 第4号

相馬総合高等学校 進路指導部



## ◆◆いよいよ、受験シーズン突入！◆◆

### 就職採用試験開始

就職希望者は、7月1日の「求人票公開」・夏休みの「応募前職場見学」を経て、就職採用試験の受験先を決定し、夏休みが終わる直前には、時間をかけて履歴書の作成をしました。ちょうど進路指導部では、履歴書・調査書等の書類を揃えて発送したところです。受験対策として、2回の模擬面接が終了しました。この2回は、進路指導部が設定した面接指導です。さらに面接練習は必要だと思います。先生方に面接指導をお願いし、何度も面接練習をしてください。

9月16日（火）、いよいよ就職採用試験の開始です。

就職採用試験は、会社（事業所）によって違いがありますが、次のような試験があります。

- (1) 書類選考（履歴書・調査書）  
履歴書は受験者が、調査書は学校が作成します。
- (2) 学科試験  
(ア) 一般常識  
(イ) 各教科試験（国語・社会・数学・理科・社会など 各会社によって指定されます。）
- (3) 適性検査（「職業適性検査」・SPI・クレペリン検査など）
- (4) 面接試験（個人面接・集団面接）
- (5) 作文

面接試験は非常に重要です。生徒諸君が考える以上に、会社は面接試験を重視しています。会社は一つの社会組織です。その組織に所属し、他者と協力して仕事ができる人材かどうか。その組織の中で成長できる人材かどうか。それを見極めるのが面接試験です。受験者の学習などの「能力」だけではなく、受験者の人間性や社会性が評価されるのです。

8月22日（金）に行われた、就職希望者向けの「進路ガイダンス」は、面接試験対策でした。そこで用いられた「面接評価票」の項目を見てみましょう。これらは面接で評価されるポイントに他なりません。

- (1) 声の大きさ (2) おじぎ (3) 返事 (4) 目線 (5) 立ち方・座り方 (6) 目線 (7) 言葉のスムーズさ
- (8) 志望動機 (①きっかけ ②会社の魅力 ③本人の適性 ④入社後のビジョン)
- (9) 会社の理念 (10) 自分が行う予定の仕事について (11) 長所 (12) 自分の高校生活 (13) 趣味
- (14) 最近関心のあるニュースとそれについての考え (15) その他

特に「進路ガイダンス」の講師の方が、何度も声を大にして強調されていたことがあります。

### 明るく大きな声で話しなさい！

このことは3年生だけではなく、1年生2年生にも伝えたいと思います。

自分の思いや考えを、明るく大きな声で、他者の心に届けることを日々心がけてほしい。

## 総合型選抜入試の開始・学校推薦型入試へ

### 総合型選抜入試

進学希望者は、総合型選抜から受験が始まります。現在、「進学（総合型選抜）出願届兼各種依頼申込書」の提出を終えた生徒もいます。9月2日（火）には、第1回目の進学者推薦会議も開催され、すでに何人かの推薦者が決定しました。出願受付も開始されようとしています。第2回目の模擬面接には進学者の面接指導も含まれています。これから進学者の面接指導が本格化していきますが、同時に出願書類の作成と、小論文などの受験対策をしなければなりません。一方で、9月30日（火）から中間考査が始まります。残された時間は長くはないのです。

総合型選抜試験の内容は、大学や専門学校によって違いがありますが、次のような選抜方法があります。

- (1) 書類選考（調査書・志願理由書・自己推薦書など）
- (2) 小論文試験・プレゼンテーション・実技・教科試験など
- (3) 面接・口頭試問
- (4) 各種資格や検定試験の実績
- (5) 部活動の大会実績
- (6) その他

志願理由書や自己推薦書は非常に重要です。これらは、自分の力だけでは合格にふさわしいものを書くことは不可能だと思います。専門学校や大学において、どのような学習や研究が行われているのかを知っている先生方の指導が不可欠です。この入試はかつて「AO入試」と呼ばれていたものです。「AO」とは「アドミッションズオフィス」のことで、直訳すると「入試担当の事務局」です。つまり「AO入試」（＝「総合型選抜入試」）とは、大学側が求める（＝アドミッションポリシーに合致する）学生を選抜するための入試なのです。したがって、受験生は、志願理由書や自己推薦書によって、大学側が求める学生像と自分の人物像が合致していることを、是が非でもアピールしなければならないのです。

本校は総合学科の高校であり、「総合的な探究の時間」も充実しています。このことは、総合型選抜試験においては「強み」（アドバンテージ）のはずです。最近では、「総合的な探究の時間」、特に「個人探究」において、どのような課題に取り組んできたかについて、面接等で詳しく聞かれるようになりました。「強み」を生かしてください。3年生は、「個人探究」において何をしてきたかについてしっかり総括しておく必要があるでしょう。1年生2年生は、「総合型選抜」において「強み」になるような、充実した「個人探究」活動を目指して欲しいと思います。

### 学校推薦型入試

学校推薦型入試は、かつて「指定校推薦入試」または「公募型推薦入試」と呼ばれていたものです。これらの違いについては、「進路だより 第3号」に書きましたが、再び書きます。指定校推薦とは、本校は伝統校であることから、特別に本校を指定して、大学・短大・専門学校から本校に推薦を要請するものです。成績や欠席日数等に条件があります。公募制推薦とは、「公募」という文字通り、大学・短大・専門学校の出願資格と条件を満たせば誰でも出願可能です。ただし、競争選抜であるので合格の保証はありません。選抜方法は多様ですが、指定校推薦では次のようなものがあります。

- (1) 書類選考（調査書・志願理由書など）
- (2) 面接・口頭試問
- (3) 小論文試験
- (4) その他

公募制推薦は、競争選抜であることから、指定校推薦に比べるとはるかにシビアな入試です。

- (1) 書類選考（調査書・志願理由書など）
- (2) 小論文試験・プレゼンテーション・実技・教科試験など
- (3) 面接・口頭試問
- (4) 各種資格や検定試験の実績
- (5) 部活動の大会実績
- (6) その他

指定校推薦は10月頃から実施され、公募制推薦は10月から11月にかけて実施されることが多いです。